

学校教育目標（目指す生徒像）

- (1) 主体性をもち 粘り強く学ぶ生徒
- (2) 自分を大切にし 人間性豊かな生徒
- (3) 協力し合い 根気強く鍛え抜く生徒

目指す学校像

滝沢市のめざす「正義」と「信頼」の学校のもと、生徒・保護者・地域住民が誇りと愛着がもてる学校をめざす。

- (1)『正義と清新さのある学校』
- (2)『感性を育てる学校』
- (3)『磨きあう学校』

経営方針

いい学校をつくるために、次の2つの基盤、3つの視点で教育活動に取り組む

(1) 2つの基盤

- ①願いやねらい(目的)をしっかりと持つ
- ②実態を正確に把握する

(2) 3つの視点

- ①活動の「見える化」
- ②習熟・定着のための「工夫した繰り返し」
- ③主体性を導き出す「意図的な仕掛け」

本年度の重点

(1) 校内研修の充実と授業改善の推進

「見通し・学習活動・振り返り」の徹底、「報われるテスト」の実施、主体的に自分の考えをもち表現させるための場の設定
9年間を見通した教科指導、各種検定に挑戦、ICT機器の有効活用

(2) 豊かな心の涵養

道徳教育の充実、認める(褒める)活動の設定、読書活動の推進、ボランティア活動の推進
「気づき、考え、実行する」生徒の育成

(3) 心身の健康と体力の向上

走力・持久力向上を意識した全校体力づくりの実施、心身の健康についての意識を高めるための各講座の実施
自他の生命を守る心を育てる指導

(4) 学級経営、生徒指導の充実

時間を意識した行動、あいさつと礼儀の指導、生徒の心に寄り添った指導
所属感を高め、不適応やいじめ等の未然防止・早期発見・早期対応のための取組の強化
情報機器利用の指導

(5) 保護者・地域との協働、関係機関等との連携

コンプライアンスの確立、地域活動への積極的協力、家庭・地域との連携と協働を推進
学校の教育活動を積極的に発信、生徒・保護者・地域の願いを学校経営に取り入れる
小学校との連携強化、関係機関との連携を図った体験活動・ボランティア活動の推進

(6) その他の重点

「一本木さんさ」等により自校や地域に誇りや自信がもてる活動の推進、保護者も巻き込んだ情報モラル等の指導の推進
「震災を忘れない」「防災」「心と体の健康」の視点による復興教育の推進



令和3年度 一本木中学校「まなびフェスト」

粘り強く学ぶ生徒

- (1) 基礎・基本的な学力の定着を図り、主体的に自分の考えをもち表現させる授業を実践します。
具体:学習定着度状況調査の平均正答率を県比100%以上
具体:学習コンクールを実施し平均点85%以上
- (2) 自学自習の力を高める指導をします。
具体:家庭学習1・2年90分以上、3年120分以上
- (3) 積極的に各種検定に挑戦するよう指導します。
具体:検定に挑戦する生徒70%以上。2種類又は2回以上の検定に挑戦する生徒40%以上

人間性豊かな生徒

- (1) 明るく爽やかなあいさつができ、相手を思いやる心を育てます。
具体:「あいさつの一本木」をキャッチフレーズにさわやかな挨拶を行います。あいさつ運動週間。
- (2) 読書活動を推進します。
具体:年間10冊以上70%
- (3) 行事に積極的に参加するとともにボランティアの充実を図ります。
具体:一本木さんさでの地域への寄与、積極的にボランティアに参加する生徒80%以上
- (4) 一本木さんさを全校で継承し誇れる活動にします。

根気強く鍛え抜く生徒

- (1) 体力づくりに努めます。
具体:新体力テストAB判定70%
具体:体力マスタートレーニングを通年で実施
- (2) 自らの心身の健康についての意識を高めます。
具体:食育・救命救急・薬物乱用防止・性指導等の講座を適時実施
- (3) 自他の生命を守る心と態度を育みます。
具体:「安心安全心の日」を中心に講話や復興副読本を使つての指導の充実



小・中 研究における連携

小中連携 JS 事業 研究主題指導

主体的に考え、表現する児童生徒の育成
～9年間を見通した教科指導の在り方～

研究の目標

9年間を見通した教科指導において、主体的に自分の考えをもち表現する児童生徒を育成するため授業改善について、実践を通して明らかにする。

教科・領域の連携指導

教科・領域での連携(国語・算数・数学、外国語・英語)
確かな学習基盤づくり

小・中 連携活動

中1ギャップの克服
家庭学習の習慣形成